

◆ 街並みを「修景」していく

松村 泰徳



外部 西側外観、前面道路より望む



内部1 上部空間上部に吹抜けを設けている



内部2 居間より食事間を望む



内部3 食事間に面する畳室



内部4 二階ホールのスタディコーナー

今回ご紹介するのは、筆者が設計監理し昨夏完成した住宅建築（以下「龍田北の小邸」）です。建設地は龍田神社をはじめ古い街並みが残る奈良街道の龍田地区より、北側に位置する丘陵地の頂き附近に開発された、数区画の分譲地のひとつです。

一番手に建築するということもあり、着想段階で、街並みを造景する上ではフラグシップ的な存在にしたいという強い想いが生まれました。また、建築主の要望と風致地区という条件も重なり、外部は日本的な「かたち」「色使い」が求められました。

外観は切妻で分節し容（かたち）に変化を与え、要所な開口部に木製の面格子を用いました。内部においても県内産のスギとヒノキを構造材及び造作材に用い、内外の整合を図っています。そして、扇形で高低差のある変形地ではありましたが、「広々とした家に暮らしたい」という建築主の希望を叶えるべく、一階の「広がり空間」を二階にもつなぎ、家全体にわたって家族の気配を感じとれる空間構成としました。

龍田地区は、江戸期の伝統的建造物も数多く残す歴史的にも貴重な地区（筆者も調査に参加）ですが、残念なことに様相は年々変化しています。周辺地区からも「修景」作業を行うことは街並み保存していく上でも有意義だと考えています。

「住みいるカフェ」

昨年末に完成したグループホームの表札をタイルで造りました。タイルの絵は、利用者が描いた絵をパソコンに取り込み、レイアウト、タイルの大きさに合わせて割り付けました。

表札のデザインは、誰でも作ることができて、その性格が現れます。設計行為は、専門的な知識が必要な場合もありますが、作る喜びを共感できることが設計者にとっては、仕事のやりがいを感じると思います。最近、HPでイタリア製タイルの表札をデザインしてもらえたり、世界中のデザインが手軽に取り入れ易い時代になったので、設計者も多様なデザインに挑戦が大切だと感じています。（井戸田 精一）

～タイルで表札を作る～



◆ 地域産材でつくる木工教室

橋爪恒平



金剛山麓の緑に囲まれた「La foresta」



製作途中「カンナ掛」の様子



製作途中「ホゾ加工」の様子

とある出掛け先で「おおさか河内材ヒノキでつくるベビーチェアづくり」というイベント告知のチラシを偶然目にすることがきっかけで、南河内郡千早赤坂村にある、「La foresta」という施設で行われている木工教室に参加してきました。

この施設は大阪府森林組合の運営によりギャラリーやカフェ等が設けられており、南河内地域の林地から生産されるヒノキ・スギといった針葉樹を主とした「おおさか河内材」の活用・普及を目的として、セミナーやワークショップ等のイベントが行われています。地域産材への興味と1歳を過ぎた我が子へのプレゼントに良いかも知れないと早速申し込みをすることにしました。ちなみに、南河内地域で設計事務所を構えていながら「おおさか河内材」なるものの存在を、流通量の少なさもあってほとんど知りませんでした。

当日は、施設のエリア内にて併設されている木工作家（家具作家）さんの工房にて行われました。製作時間はおおよそ3時間で、必要な道具は全て用意されており座板、背板（笠木）、脚などの材料はあらかじめ切り出されていて、ヒノキのととも良い香りがしました。作業の流れは、材料同士をつなぐ為の「ホゾ加工」、各材料の面取りをする「カンナ掛」、脚の寸法を調整する「ノコ掛」、楔（クサビ）と接着剤を併用した「接合」、全体を仕上げる「ペーパー掛」といったところでした。汚れを防ぐ為等の「オイル掛」は時間の都合により持ち帰って各自でやることになりました。始めに説明を受けてから、木屑を辺りに散らしながら夢中で黙々と作って行きます。少し時間が延びてしまいましたが皆さん無事完成です。最後は参加者全員が各々感想を述べ合って終了となりました。尚、今回参加したのは初心者向けのイベントでしたが、もっと家具作りに興味を持った人向けに中・上級者向けの本格的な木工教室もあるようです。

多少なりとも、自分の手を動かして出来た「モノ」というのはさすがにひとときわ愛着が湧きます。私自身は更に地域産材の活用という観点から「地産地消」といった今後の我々を取り巻く環境の有り方の一つとして、ふと思いを馳せたりもしました。気軽に参加できるので南河内地域をはじめ周囲にお住まいの方々も機会があれば是非参加されてみてはいかがでしょうか。オススメです。



我が子にビッパリ!?



鉢植の花台としても使えそうです

◆ 編集後記

松村さんの設計した住宅は、自然素材を生かした豊かな内部空間の様子が伝わってきます。橋爪さんの記事は、子供に木を触れさせた時の様子に共感するものがあります。どちらも家づくりに欠かせない感動を伝えています。今年も、新しい仲間を迎え、家づくりの話で春を盛り上げたいところです。

(井戸田 精一)

◆ 編集メンバー

井戸田 精一	井戸田精一-アトリエ
米田 巧	TAKUMI建築設計室
辻 祐司	辻 建築設計室
何左 昌範	ささりな計画工房
橋爪 恒平	atelier nest-アトリエネスト-
松村 泰徳	松村泰徳建築事務所

編集・発行 [アーキテクトキャラバン]

大阪事務局／天満スタジオ
大阪市北区天満4丁目11-8
工技研ビル2F
TEL : 06-7501-4517
FAX : 06-7503-4773

奈良事務局／松村泰徳建築事務所
奈良県葛城市北花内261-5
松村ビル 2 F - W E S T
TEL : 0745-69-5938
FAX : 0745-60-6524
E-mail: contact@ym-arc.jp
URL : http://www.ym-arc.jp

Copy right 2010-2013 Architect Caravan All rights reserved

「アーキテクトキャラバン」は、建築に携わる有志が集まり、その活動内容や住まいに関する情報などを、広く皆様へお届けできる場として、年4回季刊誌形式にて発行しております。

新築・リフォームに限らず住まい全般のご相談等御座いましたら、遠慮なく右記事務局までご連絡頂きます様宜しくお願い致します。